

情報番号：20090852

テーマ：物流改善プロジェクトはなぜ必要なのか

編著者：株式会社イー・ロジット 代表 角井亮一

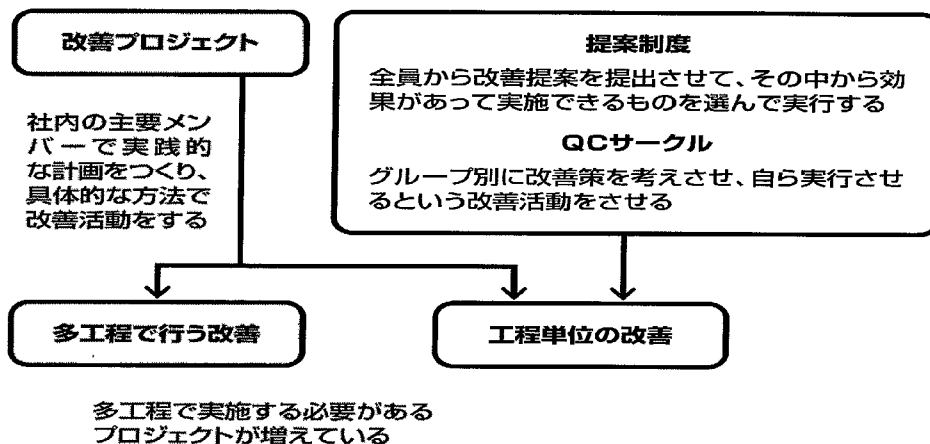
「工程単位の改善」では解決できず、「多工程での改善」が求められています。これに応えられるのはレベルの高い「改善プロジェクト」しかありません。

1. 物流改善は、あらゆる企業にとって必要です。なぜなら、企業活動を進める以上、必ず物流という作業が発生するからです。
多くの企業にとっては、商品を運んで納品して初めて商売が成立します。サービス業であっても商売に関連するもの、例えば広告制作物、販促物、帳票類、それから現金も行き来しています。さらに、対社外だけでなく社内でも物流が発生しているのです。
2. その物流を改善することは、確実に企業力をつけることにつながります。とくに商品を販売する企業にとっては、変動費や固定費を下げることは、利益ベースと利益率を引き上げることになりますから、物流改善は最重要な課題であるはずです。
3. その物流改善を実施する方法には、一般的には次のようなものがあります。
 - 提案制度………全員から改善提案を提出させて、その中から効果があつて実施できるものを選んで実行する。
 - QCサークル…グループ別に改善策を考えさせ、自ら実行させ、改善活動をさせる。

ほかにもありますが、「改善」という言葉から思い浮かぶのは、この2つでしょう。これらは間違いなく効果があり、これで改善が進んでいる企業も多くあります。

しかし、私は、このどちらでもない「改善プロジェクト」を進めています。その理由は、改善に求められる目的・内容が高度化しているからです。

01-1 物流改善の方法は進化している



4. 物流改善には、いろいろなレベルがありますが、ここでは大きく2つに分けて考えてみます。

① 工程単位の改善

作業機の高さを変えたり、搬送（倉庫内での移動）のかわりにローラーを入れるとか、ピッキングリストの文字を大きくするという「作業効率を上げるレベル」。

② 多工程で行う改善

誤出荷を減らすために検品の回数や方法を変えたり、受注締め時間を遅らせるために受注方法や梱包方法やピッキング方法を変えたりという「目的達成のためのレベル」。

①は、「提案制度」「QCサークル」で十分機能するでしょうが、②は、もう少し大がかりな方法が必要になります。

だから、「改善プロジェクト」を勧めているのです。

(出典) 株式会社かんき出版

「物流改善の進め方」

(執筆者) 角井 亮一

株式会社イー・ロジット 代表

東京都千代田区神田和泉町1番地1-7 東陽ビル1階

TEL : 03-5825-1720

<http://www.e-logit.com/>

掲載内容の無断転載を禁じます。